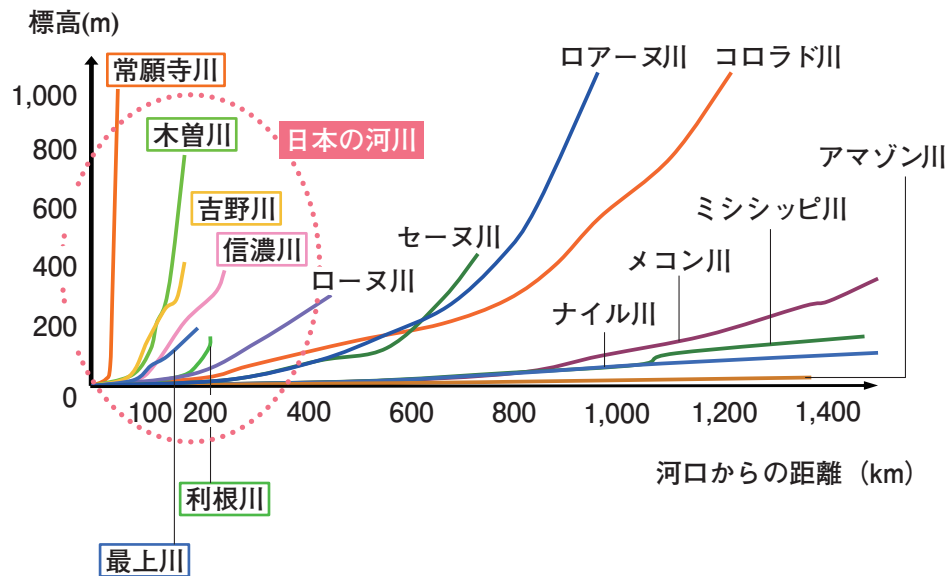
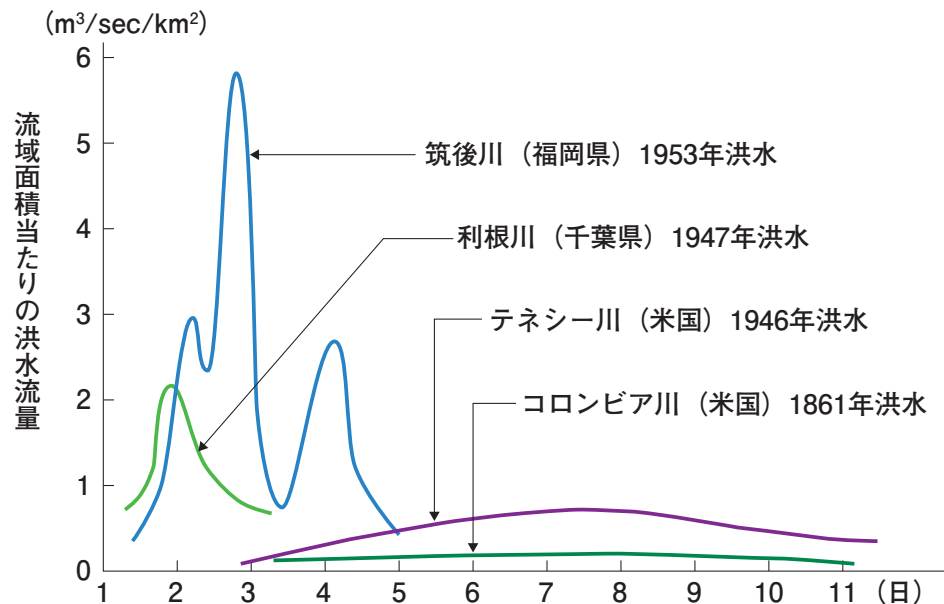


2-2 脆弱な国土

2-2-1 各国と日本の河川縦断勾配の比較



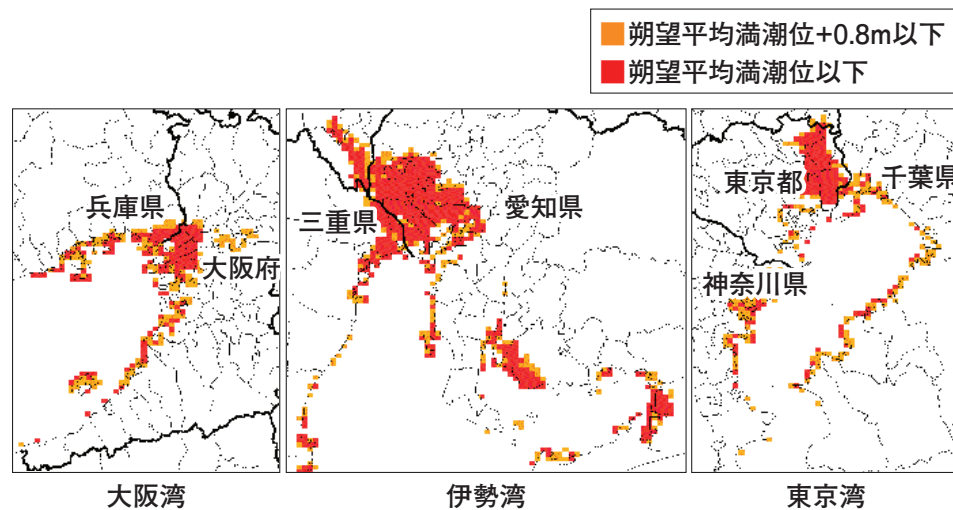
2-2-2 洪水の継続時間と単位流域面積あたりの洪水流量



2-2-3 三大湾のゼロメートル地帯の人口・面積

気候変動による影響

- 低平地やゼロメートル地帯では、市街化の進展により流出量が増加している上に、自然排水が困難であることから、洪水・内水・高潮による浸水が長時間に及ぶことが想定
- 特に三大湾のゼロメートル地帯においては、海面水位が現時点で80cm上昇すると仮定した場合、海面水位以下となる面積が約6割、人口が約4割増加するなど、水害のリスクが増大



	現状のゼロメートル面積・人口	海面上昇後のゼロメートル面積・人口	水害リスクの倍率
面積(km <sup>2</sup> )	約500	約780	1.6
人口(万人)	約310	約440	1.4

※国土数値情報をもとに水管理・国土保全局で作成。  
 ※3次メッシュ(1km×1km)の標高情報が潮位を下回るものを図示。面積、人口の集計は3次メッシュデータにより行っている。  
 ※河川・湖沼等の水面の面積については含まない。